



## 第2回学校評価の集計結果

保護者の皆様にご協力いただきました「本校の教育活動についての第2回保護者アンケート（学校評価）」の集計結果が出ましたので、お知らせいたします。

第2回の今回は、第1回学校評価で、「目標値に到達しなかった評価項目（7項目）」について実施し、前回同様、それぞれの評価項目について、「A（よくあてはまる）、B（だいたいあてはまる）、C（あまりあてはまらない）、D（あてはまらない）」で回答していただきました。

なお、表中の保護者欄・児童欄・教職員欄のA+Bは、「A（よくあてはまる）」と回答した%と「B（だいたいあてはまる）」と回答したを%を合わせた数値になっています。

## 【達成度（a・b・c）の判定に関わる基準】

- ・目標値が100%の場合の a 判定 … 保護者と教職員のどちらもがAとBの合計が100%の場合  
b 判定 … a 判定と c 判定に当てはまらない場合  
c 判定 … 保護者と教職員のどちらもがAとBの合計が90%未満の場合
- ・目標値が 90%の場合の a 判定 … 保護者と教職員のどちらもがAとBの合計が95%以上の場合  
b 判定 … a 判定と c 判定に当てはまらない場合  
c 判定 … 保護者と教職員のどちらもがAとBの合計が90%未満の場合
- ・目標値が 80%の場合の a 判定 … 保護者と教職員のどちらもがAとBの合計が85%以上の場合  
b 判定 … a 判定と c 判定に当てはまらない場合  
c 判定 … 保護者と教職員のどちらもがAとBの合計が80%未満の場合

※ **ゴシック体数字 (%)** は目標値を下回った数値

※ 第2回が第1回を上回ったもの（↑）、下回ったもの（↓）、同じだったもの（↔）

	評価項目	アンケート内容 (保)=保護者用 (教)=教職員用	目標値	回	保護者 (A+B)	教職員 (A+B)	児童 (A+B)	達成度
I	③ 家庭での学習習慣	(保) お子さんには、家庭での学習習慣が身に付いていると思いますか。	80%	1	<b>76%</b>	100%	91%	b
		(教) 家庭での学習習慣(宿題、自主勉強等)を確立するための取組を継続していますか。		2	<b>76%</b>	100%	88%	b
II	⑤ 自ら進んであいさつ	(保) お子さんは、自分から進んであいさつをすることができますか。	90%	1	<b>84%</b>	100%	95%	b
		(教) 自ら進んであいさつをするように、折に触れて繰り返し指導を行っていますか。		2	<b>86%</b>	100%	94%	b
II	⑦ いじめの未然防止	(保) お子さんは、相手の立場や気持ちを考えた適切な言動をしていると思いますか。	90%	1	<b>88%</b>	100%	93%	b
		(教) 相手の立場や気持ちを考えた適切な言動について、折に触れて繰り返し指導を行っていますか。		2	<b>86%</b>	100%	91%	b
III	⑪ むし歯や疾病の即時治療完了	(保) 治療勧告を受けたむし歯や疾病はすぐに治療完了するようにしていますか。	100%	1	<b>88%</b>	100%	<b>77%</b>	b
		(教) 治療勧告を出したむし歯や疾病の即時治療完了について、粘り強く指導を行っていますか。		2	<b>89%</b>	100%	<b>86%</b>	b
IV	⑫ 『北小電子メディア利用のきまり』	(保) お子さんは、『北小電子メディア利用のきまり』を守っていますか。	90%	1	90%	<b>70%</b>	<b>89%</b>	b
		(教) 『北小電子メディア利用のきまり』について、折に触れて繰り返し指導を行っていますか。		2	<b>81%</b>	<b>82%</b>	<b>89%</b>	<b>c</b>
IV	⑬ 学校図書館の利用・読書習慣	(保) お子さんは、毎日読書をしていますか。	90%	1	<b>69%</b>	90%	<b>83%</b>	b
		(教) 学校図書館を計画的に利用し、本を借りる指導や読書の楽しさ伝える指導を工夫していますか。		2	<b>63%</b>	100%	<b>84%</b>	b
V	⑯ 地域等の人的・物的教育資源の活用	(保) 学校は、授業等で地域や関係団体の人的・物的教育資源を積極的に活用していると思いますか。	90%	1	96%	<b>82%</b>	*	b
		(教) 授業等で地域や関係団体の人的・物的教育資源を積極的に活用していますか。		2	<b>94%</b>	100%	*	b

## 第2回学校評価の結果を踏まえた改善策

- 「家庭での学習習慣」については、「保護者が76%から76%で↔」、「教職員が100%から100%で↔」、「児童が91%から88%で↓」、「達成度はbからb」であった。
  - 身に付いていない児童については、保護者（“自主”勉強なので、やらなくてもよいと思っている）の理解や協力が得られるように啓発し、学校と家庭との連携を強化する。
  - モデルとなる児童の取組をほめたり、その取組を紹介したりする機会を今後も設ける。
  - 宿題の出し方を工夫したり、自主勉強のやり方を指導したりするとともに、取り組んだ成果が分かるような工夫（紹介、展示、ミニテストなど）をする。
- 「自ら進んであいさつ」については、「保護者が84%から86%で↑」、「教職員は100%から100%で↔」、「児童は95%から94%で↓」、「達成度はbからb」であった。
  - 「北小の子はあいさつがよくできる」という地域住民のお褒めの言葉はよく耳にしますが、児童間較差が大きいのが事実であり、いわゆる“自分からあいさつができない子”については、具体的な場面を捉えて、繰り返し繰り返し指導していく。
  - 家庭においては、「うちの子は、しっかりとあいさつができているのだろうか？」ということ色々な場面で把握し、学校と同様に繰り返し指導してください。
- 「いじめの未然防止」については、「保護者が88%から86%で↓」、「教職員は100%から100%で↔」、「児童は93%から91%で↓」、「達成度はbからb」であった。
  - 「いつも友達の立場や気持ちを考えて、しゃべったり行動したりする」ことができなかった時に起こるのがいじめであるので、児童の言動については今後もしっかりと見守るようにし、『生活アンケート』も活用しながら、いじめの兆候を見逃さないように努めていく。
  - いじめの中には、「悪気は全然なかったのに…」「ふざけてやったことなのに…」「そんなふうにも思われていたなんて…」「Aさんといつも言い合ったりやり合ったりしていることを、Bさんにしたら、いじめと言われた」というようなものがたくさんあります。しかし、喧嘩や言い争い、至極真っ当な児童間の“注意”などを除いて、「相手が嫌な気持ちになることを、言ったり、やったり、やらせたりしたら、それはいじめである」ということを、繰り返し指導していくとともに、併せて、「同じ言動であっても相手によって受け止め方はまちまちである」「だから言動には十分注意しなければならない」ということも指導していく。
  - 家庭においては、「嫌な思いをしたら、自分がすぐに担任に伝えることが基本」ということを指導してください。また、子どもが「いじめられている」と言ったら、すぐに担任に相談してください。初めての段階で対応すれば、一つの事実確認で容易に解決に向かうことも、何ヶ月も経った頃に、「あの子にはずっと嫌な思いをさせられていて、親子共々我慢してきたのですが、もう…」というような段階になると、当事者児童の記憶も曖昧になり、一つ一つの事実確認がたいへん難しくなります。「言われた。言っていない。そういうふうには言わなかったと思う」「やられた。覚えてない」など、不確かな部分が多くなればなるほど、結局最後は、双方が納得いかないまま終結させざるを得なくなってしまいます。
- むし歯や疾病の即時治療完了」については、「保護者が88%から89%で↑」、「教職員は100%から100%で↔」、「児童は77%から86%で↑」、「達成度はbからb」であった。
  - 『受診のすすめ（再、再々、再々々）』を配付し、担任が指導を行ったり、「学校だより」や「保健だより」の中でも繰り返し啓発・指導を行ったりしているが、歯と口の健康に対する一部の保護者の意識に問題があり、冬休みが明けても、乳歯のむし歯については、治療完了率が100%になっていないので、今後も粘り強く保護者への啓発・指導を続けていく。また、ケースによっては、管理職が直接指導を行う。
- 「北小電子メディア利用のきまり」については、「保護者が90%から81%で↓」、「教職員は70%から82%で↑」、「児童は89%から89%で↔」、「達成度はbからc」であった。達成度がbからcに下がってしまったことを、教職員も保護者も重く受け止めていく必要があると考えています。
  - 『北小電子メディア利用のきまり』は、今年度の7月に配付したものであり、周知徹底不足が否めないため、学級懇談会等を活用して、保護者への一層の浸透を図っていく。
  - 『北小電子メディア利用のきまり』にある「1日の利用時間45分まで」は、やがては中学生になることを見据えた時に、妥当なものであると考えるので、「メディア中毒（依存症）」になってしまうことを未然防止する観点から、今後も児童への指導を継続していく。
  - 『北小電子メディア利用のきまり』についての学校評価で、C又はDと回答した保護者については、「家庭内ルール」を再検討するなど、危機感をもって対応していただきたい。
- 「学校図書館の利用・読書習慣」については、「保護者が69%から63%で↓」、「教職員は90%から100%で↑」、「児童は83%から84%で↑」、「達成度はbからb」であった。
  - 各学級で学校図書館を積極的に利用するとともに、教室内に本を置いておける環境を作る。
  - 借りた本による読書（本読みカード、音読カード）を宿題にしたり、読書を自主勉強の中にも含めたりする取組を進めていく。
  - 児童が取り組みやすく、保護者にも分かりやすいように、「1日〇〇分以上読書をしている」というような形に、アンケートの内容を変えていく。
- 「地域等の人的・物的教育資源の活用」については、「保護者が96%から94%で↓」、「教職員は82%から100%で↑」、「児童は“非調査対象”」、「達成度はbからb」であった。
  - たくさん活用することが目的ではないので、＜分かる授業＞の授業づくりをしていくために本当に必要であると認められる場合には、人的・物的教育資源を積極的に活用していく。